

平成 25 年度第 10 回小学校ゼミナール記録

2013 年 1 月 9 日(木)

於：広島大学附属小学校

参加者：福田博人(司会), 他 11 名

1. 協議事項

4 つのグループに分かれての算数科における授業作り及び授業展開の議論

2. 協議内容

研究大会に向けて最後の小ゼミが行われた。前田先生は研究大会当日の学習指導案を用意して下さり、それをもとに検討を行った。前田先生から事前に与えられた課題として同じ内容を 9 通りの棒グラフで表したものを、それぞれどのような意義や特色があるか調べており、その内容も含め議論した。議論の内容では提示方法の工夫によって、表の相対関係を予想させ、表にあうグラフはどれか考えさせるように導入を考える。また、提示するグラフの順番に考慮することで児童の目を目盛りに向けることができるのではないかと議論し、表の良さやグラフの良さに着目もさせることができるのではないかと考えた。また、人間の価値観（見た目など）と数学の世界（目盛りの線形性など）などの考え方において数学の世界をもとに人間の価値観を見ることでパターンを固定するのではなく、合理的に考える生徒を育てることができるのではないかと議論した。

(文責：後藤 佳太)